

千葉市動物公園のボルネオオランウータン「フトシ」の死亡について

皆様に親しまれてまいりました、ボルネオオランウータン「フトシ」が死亡しましたので、お知らせします。

1 死亡動物

(1) 動物種

ボルネオオランウータン「フトシ（オス）」

(2) 来園

平成10年（1998年）8月31日

日本モンキーセンターから繁殖借受にて導入

(3) 生年月日

昭和63年（1988年）2月9日（33歳）



フトシ

2 死亡日時

令和3年（2021年）2月16日（火）未明

3 死因及び経緯

(1) 死因

小脳出血に起因する誤嚥性肺炎

(2) 経緯

令和2年4月から後肢の歩行に異常が見られ、治療を続けてきました。

令和3年2月15日に右腕と頭部に痙攣の症状が現れ、処置・観察を続けていましたが、2月16日の朝に死亡を確認しました。

4 献花・記帳について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、献花や記帳はご遠慮いただいております。

なお、2月18日（木）から28日（日）まで、オランウータン舎屋内展示室にてフトシの思い出写真を掲示します。

5 当園でのボルネオオランウータンの飼育状況

昭和60年(1985年)3月から、園内のモンキーゾーンにてボルネオオランウータンの飼育を開始しましたが、今回のフトシの死亡により、当園で飼育するボルネオオランウータンはいなくなりました。

6 国内でのボルネオオランウータンの飼育状況

国内では15園館において、雄20頭、雌13頭の計33頭が飼育されています。

※日本動物園水族館協会「飼育動物報告」(令和3年2月8日更新)

【参考】ボルネオオランウータンについて

英名	Bornean Orang-utan
学名	<i>Pongo pygmaeus</i>
分類	霊長目 ヒト科
生息地	ボルネオ島(インドネシア、マレーシア)の熱帯雨林
体重	オス60~90 kg、メス40~50 kg
体長	オス97 cm、メス78 cm
食べ物	果実、植物の芽、葉、樹皮、昆虫

オランウータンという名前は「森のひと」を意味し、生活のほとんどを樹上で、単独か親子連れで暮らしています。オレンジがかかった茶色の体毛で、大人のオスのうち力の強い個体は、頬ひだが張り出してきます。